

平成 26 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	建設緑政局 等々力緑地再編整備室	要素事業所管課	建設緑政局 等々力緑地再編整備室
----------	---------------------	---------	---------------------

1 計画の概要

計画の名称	小杉駅周辺地区市街地の活性化（防災・安全）	計画の期間	平成 22 年度～平成 26 年度
計画の目標	<p>小杉駅周辺地区に隣接している等々力緑地は、市における総合公園として昭和 32 年から整備を進めて参りましたが、陸上競技場や硬式野球場などの運動施設をはじめとした施設が老朽化し、広域避難場所である災害時の活動拠点としての活用についても課題があることから、スポーツ・レクリエーションの拠点及び災害時の広域避難場所となる等々力緑地の再編整備に取り組んでいます。</p> <p>また、より一層のオープンスペースの確保に努めており、災害に備えた広域避難場所としての機能充実や、緑地内の施設において、防災備蓄倉庫や非常用発電設備の設置など防災機能の充実を図ります。</p>		
計画の成果目標 （定量的指標）	陸上競技場の整備により、等々力緑地における災害時の応援部隊の活動拠点面積を 4.6ha から 8.1ha に増加させる。		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	「社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）」の創設に伴い、平成 25 年度より「社会資本整備総合交付金」より移行している。		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（概要）

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	都市公園事業 (等々力緑地)	8,952,000	7,754,118	7,754,118	100	H26 年度未完了予定
B (関連社会資本整備事業)	-	-	-	-	-	-
C (効果促進事業)						
全体事業費 (A + B + C)		8,952,000	7,754,118	7,754,118 【財源内訳】 国 : 859,636 市 : 6,894,482	100	

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	等々力緑地における災害時の応援部隊の活動拠点面積			
定義及び算定式	災害対策基本法に基づく地域防災計画等に、当該都市公園の防災に資する機能が位置づけられた面積			
その指標を設定した理由	災害発生時において避難地や防災拠点としての機能を有する都市公園として、防災性の向上を図るとともに、避難地等となる都市公園の整備の取組みを評価するため。			
当初現況値	中間目標値	最終目標値(H26)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
4.6ha	-	8.1ha	8.1ha(見込)	達成(見込み)
目標達成状況に対する所見	等々力陸上競技場の完成により、災害時における応援部隊の活動拠点面積が 8.1ha となることから目標を達成できると考えます。			
将来の見込み	等々力緑地内での災害時における防災機能を高める取組みを進めることにより、生活空間の安全確保の向上が図られると見込んでいます。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	事業実施後の公園緑地に対する利用者の印象評価
定義及び算定式	公園利用者へのアンケート調査を実施し、事業実施後の施設等が以前よりも防災機能の充実が「とても図られた」または「どちらかと言えば図られた」と回答した方の割合（％）
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	評価指標は防災機能の充実の発現状況を量的に評価しているため、利用者及び市民の印象評価を行うことにより、当該事業の効果を総合的に判断するものです。
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	事業実施後に公園が以前よりも防災機能の充実が「とても図られた」または「どちらかと言えば図られたと思う」と回答した方の割合は47.3%であり、事業による防災機能の向上の効果があつたと見込まれる。

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	意見募集 内容：市内公園緑地利用者へのアンケート 手法：直接面接、事業実績等を提示した調査用紙に意見を記入（選択式・自由記述あり） 実施期間：9月15日～9月17日
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	調査対象者のほぼ半数となる47.3%が、事業実施後に防災機能の向上が図られたと感じており、防災機能の向上に効果があつたと考えられる。また、同調査において公園が災害時の避難場所に指定されていることを75%が知っており、公園におけるさらなる防災機能向上の取組を継続して実施する必要があると感じた。

6 今後の方針等

総合的な所見	利用者アンケートから、事業実施後に防災機能の向上に効果が確認できており、事業実績は、成果目標は当初設定した目標は概ね達成したものと考えております。 引き続き、市民の安全安心な生活空間の確保のため都市公園事業を推進して参ります。
今後の方針 次期計画 (あり)・なし	川崎市内の都市公園等事業において計画を策定し、安心安全なまちづくりの取組を推進します。